

亀山通信

第47号

発行者 浜田高校通信制課程 住所 浜田市黒川町 3749
TEL 0855-22-0187 FAX 0855-22-2549



令和元年度（第8期）島根県立浜田高等学校通信制課程 卒業記念 令和2年3月3日

令和2年3月3日（火）、第71回卒業証書授与式が行われました。今回の卒業式は新型コロナウイルスの影響で規模を縮小し、在校生は参加せず、来賓も少ない式典でした。しかし、通信制の卒業生27名のうち、22名もの卒業生が体育館での式典に出席し、例年になく多くの出席にとてうれしく感じました。

あらためて27名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます！！

自学自習が基本の通信制で学習することは決して易しいことではなかったと思います。また、学業と仕事を両立させて頑張った人もたくさんいます。みなさんの頑張りを見てきた私たち教職員も、この日を迎えることができたことをとてもうれしく思います。

これからも山あり谷ありの人生だと思いますが、通信制で過ごした日々を糧に人生を切り拓いていってください。

スクーリング日連絡先

【本S・火S】 浜田高校定時制通信制校舎
(0855) 22-0187

【協S・巡S】

大田（携帯）：080-2896-2457
益田（携帯）：080-2896-2458

※ 協力校の電話は、協力校スクーリング当日
8：30～15：00までの間つながります。
それ以外は、浜田高校定時制・通信制校舎へ電話して
ください。

※ Sはスクーリングのことです。

第47号の主な内容

- ◎表紙
- ◎校長式辞・・・・・・・・・・・・・・・・P1～2
- ◎卒業生代表答辞・・・・・・・・・・・・P3～4
- ◎卒業生授賞式・・・・・・・・・・・・P5
- ◎在校生授賞式・・・・・・・・・・・・P6
- ◎生徒総会・冬季集団研修・・・・・・P7
- ◎会食マナー講習会・・・・・・・・・・P8
- ◎進路部だより・・・・・・・・・・・・P9
- ◎保健だより・・・・・・・・・・・・P10
- ◎お知らせ・・・・・・・・・・・・P11
- ◎副校長より・・・・・・・・・・・・P12

式
辞

弥生の月の訪れとともに、凛と張り詰めた空気の申にも、春の訪れが感じられる頃となりました。

本目、令和元年度第七十一回島根県立浜田高等学校卒業証書授与式を挙行いたします。

例年であれば卒業生の皆さんの右手に多数の来賓の方、後方に二、三年生が座り、皆さんの卒業をお祝いするはずですが、今年は新型コロナウイルス感染症の予防のため、このようなかたちの卒業式をとらせていただきました。卒業生の皆さん、保護者の皆さんには、晴れの門出をこのようなかたちで執り行わせていただくこと、申し訳なく思っております。

そのような中、全目制PTA会長、山根真一郎様、定時制・通信制PTA会長、中能由佳子様には、保護者代表としてご臨席を賜りましたこと、高い所からではありませんが、卒業生並びに本校教職員を代表して、お礼を申し上げます。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠

におめでとうございます。在学中には、お子様が無難や部活動、友だちとの関係などで悩むなど色々なことがあったことと思いますが、その都度暖かく、大きく包み込む思いを持って、今日までお子様を支えてこられたことと拝察します。またその一方で、浜田高校の教育活動にご理解、ご協力をいただいております。ありがとうございます。

さて、ただいま卒業証書を授与しました二二六名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。浜田高校で過ごした年月は、各課程或いは個人によって様々ですが、一人ひとりにとってかけがえのない、また思い出深い年月であったと思います。

定時制課程を卒業する十名の皆さんは、定時制・通信制校舎から巣立つ卒業生として、八代目になります。あの学び会で高校生活を送る一方で、仕事の中で様々な経験を積み、社会の厳しさにも直面し、それに負けずに向学心を持ち続け卒業を目指して頑張ってきた

した。定時制の仲間や先生方の励ましのなかで、高校を卒業するという目標を立派に果たした皆さん、本当によく頑張りました。明るく元気に高校生活を送った皆さんの人知れぬ努力に対して、心より拍手を送りたいと思います。

開設八年度となる通信制課程を卒業する二七名の皆さんも、自らの力で学ぶという通信制の「学び」を理解し、本校や大田、益田でのスクーリング、レポートの提出、そして前期・後期制による試験と、ハードルを一つ一つ自らの力で乗り越え、本日を迎えられるました。卒業と仕事の両立だけでなく家事や育児もしなければならぬなかで、「高校を卒業する」という目標に向かって、自ら努力し、高校卒業に必要な単位を修得されました。通信制での学び直しを決意して浜田高校に入學し、卒業の時を迎えた皆さんに対して、心より拍手を送りたいと思います。本当によく頑張りました。改めてその努力に敬意を表します。

全目制課程を卒業する一八九名の皆さんは、「高い理想、誠実な努力」の教育目標の下、一人ひとりが勉強と部活動の両立に努めながら、努力を重ねてきました。毎日の授業に取り組み、時には課題の多さやテストの多さに苦しみ、一方で学問の深遠さを感じ、さらに多くのことを学びたいという意欲を強く持った皆さんだったと思います。部活動を通じて、日々の精進の大切さと勝負の厳しさを体感し、学園祭など学校行事やホームルーム活動では、協調性やリーダーシップの大切さを学び、様々なことに挑戦し、そして成長した3年間の高校生活を送った皆さんだったと思います。

ここで、今日卒業を迎え、四月から新たにスタートを切る皆さんに、人生の先達として次のことを送りたいと思います。

それは、「これからが長いぞ」ということです。このような言い方をすると、なんだか大変な未来が待っているように思いかもありません。確かに、人生は決して平坦な道ではありません。上る道もあれば、下る道もあり、右に曲がったり左に曲がったり、時には崖の

横を歩いたり、色々な場所、色々な道を歩くことになります。今回のことも正に、道は真っ直ぐではないという例だと思えます。しかし、それが人が生きていくということだと私は思っています。私が歩んできた道を振り返っても、色々な道を歩いてきました。苦しかったこともありましたが、あのときこうすれば良かったという思いもありますが、自分としては毎日精一杯歩いてきたと納得できる道だったのだと思います。

皆さんの場合は、これからです。皆さんの前には、無限の真っ白な世界が広がっています。これから皆さんは、自分の前に広がる世界に、自分で道を作りながら歩いて行くことになります。このことは、素敵なことだとは思いますが、自分の思う道を作っていく。それは、夫変なことであると同時に、夢のある、わくわくすることだと思いませんか。晴れの日はかりではないかもしれませんが。雨や雪が降る目もある、時には大風に吹き飛ばされそうになるかもしれない。でも、自分の足で立ち、自分の手で自分の道を作っていくという

ことは、希望に満ちた、夢のあることだと思います。皆さんには、そのために時間がしっかりと残されています。その意味で、私は先ほど「これからが長いぞ」と言ったのです。人生八〇年ならば、皆さんは六〇年の道を作ります。新しいスタートを切る皆さん、四月から一歩一歩前を向いて進んでほしいと思います。

そしてもし、人生の苦難に直面するときがあれば、その時には浜田高校の校舎、浜田高校の校歌を思い出し、元気を出して、勇気を奮って、自分の「夢」や「理想」を実現するよう前に進んでください。

旅立ちの時が来ました。最後になりましたが、「二二六名の卒業生一人ひとりの未来に大いなる幸あれ」と心より祈り、式辞といたします。

令和二年三月三日
島根県立浜田高等学校校長
今井 靖



答 辞

やわらかな目差しが心地よく、春の訪れを感じる季節となりました。本日、私たち卒業生のためにこのような盛大な式を挙行していただきましたことを、心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

私の幼少期の記憶は、聞きたくもない怒鳴り声と泣き声。仕事のストレスを全て私たちに向け、父親が帰ってくる週末が、私は大嫌いでした。そんな環境で育ってきた私は「どうしたら怒られないか」「どうしたらいい手に見られるか」など人の目ばかり気にするようになりました。私のその姿勢は、父親と戸籍上の縁が切れて、新しい父親が出来た中学時代でも変わらぬままでした。

ある日、日常の生活が苦痛になり、病院に行ったところ、「適応障害」の診断を受けました。周りの目が怖いからこそ笑ってしまう私に対して、家族や同級生は「どうせ怠けているだけだろう」と思っていたようです。心無い言葉をかけられることなど当たり前。目の前で受けることももちろん同級生と一緒に授業を受けることなど出来るはずもない。つらさでしたが、それでも先生方の方を借りながら調子の良い目を見つけて勉強し、何とか全目制の高校へ進学することが出来ました。

部活の仲間と朝から晩まで毎日話しているうちに、通院こそしているものの、自分の病気の存在をふと忘れることもありました。このまま卒業できると思っ

ていましたし、卒業後の進学先も考えていた穏やかな日々でした。

ある日のことでした。いつも通りに部室に行き、走り込みに入ろうとしたその瞬間、息が出来なくなるとその場に倒れこみました。結局そのあと何度部活に行ってもまとまと練習が出来ず、退部するころになつてしまいました。私の薬しいことを次々と奪っていく病のために、私は再び学校へ行けなくなりました。

高校二年の春のことでした。一緒に暮らしていた祖父母の応援にもこたえることが出来ず、毎日自分を責め続けました。頑張りたいのになんか頑張りきれない。頑張りきれない。頑張りきれない。頑張りきれない。頑張りきれない。

ある朝、目覚めると、ドラマで見たことのあるような病室の光景が広がっていました。「どこか痛いところはないですか」と、おそらく看護師さんであろう人がそう聞いてくるのです。意識がはつきりするにつれ、自分の置かれている状況が見えてきました。「どうやら私は死ぬのに失敗して、数日間目覚めなかつたらしい」と。他人と会話したり、自分の足で歩いたりできるまでずいぶん長い時間がかかりました。

長い入院期間でした。それでも退院すると、もう絶対に大丈夫だと自分に言い聞かせて教室に足を踏み入れようとした。でも、駄目でした。現実には甘くないという思いが、私の心の中に圭足で踏み込んでくるのです。「ごめん、もう学

校やめるわ」友人にそう言うって私は泣きながら家に帰りました。高校二年の秋、私は自分で選んで入った学校を卒業するというさきやかな夢をあきらめたのです。

ですが、学校をやめたからといって楽になるわけではなく、かたわらに確かにいる病気といかに向き合うか、これからどうやって生きていくのか。何もわからないうちでも「自分はダメな奴だ」ということだけははっきりと分かっています。

そんな日々には転機が訪れます。私を心配してくれた友人が、通信制高校への転入を提案してくれたのです。週に二回だけのスクーリング、自分のペースで学べる仕組み、今の自分が病気と付き合っていくには最適の環境だと思えました。それからからは転入を目標に日々を過ごし、将来への希望も少しずつ見えてくるようになりました。それまでの自分とは違い、前向きに物事を考えられるようになってきたのです。

通信制に入学してからの日々は、思っていた以上に穏やかなものでした。いつの間にか私の周りにはたくさん友人がいて、自然と笑顔も会話も増えていきました。昨年はその友人の一人とともに、定時制通信制の生徒を対象にした生活体験発表会という行事に参加することが出来ました。その時の発表を見てくださった審査員の方が、副校長先生を通して「島根県の青少年育成フォーラム」というイ

ベントに出てみないかと、声をかけてくださったのです。

実際にそのイベントに参加して、地域のご年配の方や市議会議員の方など、いろいろな意見交換をすることが出来ました。自分にとって通信制での印象深い思い出のひとつです。

また、一年間通信制課程代表を務めさせていただいた生徒会活動の方でも、多くの行事に参加させていただきました。地域のボランティア活動も企画・運営し、時には学校の隣にある看見幼稚園での絵本修繕や落ち葉かきなどのボランティア活動も行いました。活動を通じてたくさんの方にお世話になり、そこで生まれた出会いもまた私の中で大きなものになりました。

めまぐるしく過ぎていく日々の大切さをかみしめていく中で、突然父から電話がありました。祖父の容体が急変したというのです。祖母の住む街は自宅から三百キロも離れた場所にあります。自宅と祖父の入院する病院を行き来する日々が続きました。

前の学校がつかかった時、いつも支えとなり背中を押してくれた祖父でした。義理の関係である祖父と私の間には血のつながりこそありませんでしたが、そんなことなど関係ないと思えるほどに気持ちのつながった家族としての絆がありました。

恚れもしない十月五日、枕元に家族がそるうのを待つようにして、祖父はこの世を去りました。そのあとというものはばらくの間、私はまったく気力を失った

日々を送りました。

それでもアルバイトや学校へは行かねばならず、時には出先で、うまく笑えない目もありました。そんなとき、祖父は自分がどんなに苦しくても自分のことより他の人のことを考え、優しく微笑みながら、「大丈夫だけんね。何とかなるけんね」と言ってくれていたことを思い出しました。

その我慢強きとやさしきはまだどうてもい真似できるものではありませんが、その笑顔とともに祖父のことを思い出すと、「頑張らなければ」と思えるようになったのです。まさに三年前、以前の学校で苦しかった時と同じように、今でも祖父は自分の背中を押してくれていると実感するのです。

私はこれから新しい社会へと足を踏み出します。正直、不安なことだらけです。それでも、私には夫好きの友人たち、そして大好きな家族がいます。すべての人に感謝し、祖父のように誰かの背中を押してあげられるかっこいい大人を目指し、日々頑張っていこうと思います。

皆さまのご健康とご活躍、そして母校の発展を祈り、答辞とさせていただきます。

令和二年三月三日

通信制課程卒業生代表

今着 香華



卒業生授賞式



令和2年2月25日(火)、青空の下、6名の来賓をお迎えして、卒業生授賞式を行いました。当日は授賞式に参加した14名に向けて、校長先生から高校生活での頑張りを称えると共に、今後の活躍への期待を込めた激励の言葉を、PTA会長様から丁寧な暖かいご祝辞を頂きました。また、太田・吉田奨学会並びに通信制生徒会から卒業生記念品も贈呈されました。受賞した生徒は、以下の通りです。

賞 名 称		受 賞 者
全国高等学校 定通教育振興会	修学優秀者賞	城市 亜美、 飛田 駿也
全国高等学校 通信制教育研究会	優秀者賞	坂根 卓、 山崎 郁乃
島根県高等学校 定通教育振興会	優秀者賞	小松原麻衣、 山口 凌
亀 山 賞	検定合格の部	小松原麻衣
	継続就労と 学業両立の部	石川佳弥子、 大谷 敦也、 幸田 春菜 小松原麻衣、 小山 大輔、 坂根 卓 佐々木夢來、 山藤 政治、 白根 堅弥 飛田 駿也、 春若 光貴、 三浦 健太
	スポーツ・文化・ 芸術の部	河上 行人



受 賞 者 呼 名



校 長 激 励 の 言 葉



賞 状 ・ 記 念 品 の 授 与



P T A 会 長 祝 辞

2月18日(火)生徒総会終了後、在校生授賞式を行いました。島根県生活体験発表大会第1位の栄誉に輝いた田中彩絵さんの受賞報告と在校生の亀山賞の表彰をしました。今年度の在校生の亀山賞受賞者は下表のとおりです。自らの進路実現に向けて検定に一生懸命取り組んだ人、仕事をしながら学業に取り組んだ人、みなさん、よく頑張りました。



【在校生 受賞者一覧】

<p>亀山賞 <検定合格の部> 小野 静空 <small>(「全国商業高等学校協会主催簿記実務検定」3級)</small></p> <p>亀山賞 <スポーツ・文化・芸術の部> 田中 彩絵 <small>(「全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 日本放送協会会長賞」受賞)</small></p>	<p>亀山賞 <継続就労と学業両立の部></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">中村 千聖</td> <td style="width: 50%;">山本 芹奈</td> </tr> <tr> <td>赤松 ひまわり</td> <td>佐々尾 智樹</td> </tr> <tr> <td>下谷 愁華</td> <td>勘場 万菜華</td> </tr> <tr> <td>小野 静空</td> <td>高木 優磨</td> </tr> <tr> <td>新垣 春花</td> <td>大畑 正和</td> </tr> </table>	中村 千聖	山本 芹奈	赤松 ひまわり	佐々尾 智樹	下谷 愁華	勘場 万菜華	小野 静空	高木 優磨	新垣 春花	大畑 正和
中村 千聖	山本 芹奈										
赤松 ひまわり	佐々尾 智樹										
下谷 愁華	勘場 万菜華										
小野 静空	高木 優磨										
新垣 春花	大畑 正和										
<p>島根県生活体験発表大会 第1位 田中 彩絵</p>											

※亀山賞とは

亀山賞は、将来の進路に向けて日々地道に努力を重ね、検定に合格した生徒、また、学業と仕事を両立させて頑張った生徒、その他スポーツ・文化・芸術分野で優秀な成績を修めた生徒に贈られる校内賞です。

生徒総会

2月18日(火)11:00から多目的教室で第2回生徒総会を開催しました。新旧生徒会役員との交代を行い、今年度の生徒会行事のふりかえりをしたり、今後の予定を発表したりしました。

令和元年度 役員	令和2年度 役員
今若 香華 (課程代表)	佐々尾 智樹 (課程代表)
飛田 駿也 (議長)	琴野 研志郎 (議長)
琴野 研志郎	小野 静空
佐々木 夢来	三浦 理恵子
佐々尾 智樹	亀谷 愛美
	安武 菜穂
	(3月初旬現在)

来年度(令和2年度)の生徒会役員を随時募集しています。興味のある人は、遠慮無く課程代表、もしくは担当教員に申し出てください。

冬季集団研修

スケート・カーリング実習

2月18日(火)午後、「サン・ビレッジ浜田」で冬季集団研修を実施しました。今年度は17名の生徒が参加しました。最初はスケートを行いました。初めてスケートを体験する人もいましたが、スタッフの方による指導を受けて徐々に手すりを使わずに滑れるようになりました。お互いに補助し合いながら、みんな楽しく滑っていました。後半は、カーリングの体験をしました。2チームに分かれてのゲームも行い、楽しく大変有意義なひとときを過ごすことができました。学校行事だけではなく、プライベートでもサンビレッジ浜田を利用し、休日を楽しんだり、身体を動かす楽しみを増やすことができると良いと思います。



会食マナー

2月25日（火） 11:30～13:30

学校で卒業生対象の授賞式終了後、ホテル松尾に移動して会食マナー講習会を実施しました。5名の生徒が参加しました。

講師のホテル松尾の女将さんから、和室での座り方の順やふすまの開け方、座布団の敷き方や座り方などを、実演を交えながら教えていただきました。料理は会席料理をいただきました。

浜田の食材を中心とした献立で、料理や盛り付けなどに込められた卒業生へのお祝いの気持ちを、女将さんや料理長からうかがいながらいただきました。生徒達からは、「知識があると動作が丁寧になり、人前でも恥ずかしくない」また、「将来職場の人との会食などに気持ちの余裕を持って臨める」という感想がありました。

卒業後には、あらたまった席での会食をする機会があると思います。この経験を少しでも生かしてほしいと思います。



進路部だより



卒業生進路状況

R元年度 卒業生28名（前期卒業生を含む）



就職（企業名等）	進学（学校名等）
ウシオ【出雲市】	比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科
ハピネライフー光【出雲市】	出雲コアカレッジ医療事務学科
大谷牧場【大田市】	大原簿記情報専門学校経理本科経理・事務コース
石見食品【浜田市】	小井出ファッションビューティ専門学校ファッション・メイク学科
アブソリュートビギナーズ【浜田市】	島根県西部高等技術校OAシステム
九動【広島県】	島根県立大学総合政策学部
ワークくわの木熱田事業所【浜田市】	ポリテクカレッジ島根電子情報科
アルバイト継続（ディスカウントドラッグコスモス）	長崎短期大学地域共生学科国際コミュニケーションコース
アルバイト継続（トライアルカンパニー）	未定（浪人を含む）
未定（在宅を含む）	R2. 2. 21現在



在校生の皆さんへ



◆卒業予定になる生徒の皆さん（令和3年3月卒業予定生）へ

- ①卒業後の進路も考慮し、R2年度の受講講座を決めてください。
- ②前期卒業を希望する人は、以下の内容を理解した上で選択してください。決定後の変更はできませんので、慎重にお願いします。
 - *前期卒業が適している場合…就職先が既に決まっている、早く卒業したい、など
 - *前期卒業が適さない場合…学校を通じて就職・進学したい気持ちがある、など
- ③就職希望者は、具体的に志望先を絞り込んでください。インターネットや新聞広告を見て、研究しましょう。浜田市の情報は「働こう@浜田×LINE@」等で発信されています。
- ④進学希望者は、オープンスクール等へ参加し、志望校の情報収集をしてください。模試を受け、自分の実力を把握した上で、保護者とよく話し合い、最終的に決定してください。
- ⑤就職・進学における推薦には、志望先のみならず校内でも条件を設定しています。皆さんが希望しても推薦が受けられるとは限りませんので、注意してください。

◆在校生全員の皆さんへ

- ①日頃より進路について考え、保護者とも話し合っておきましょう。
- ②R2年度より「進路ノート」を配布します。自己の適性理解等に役立ててください。
- ③ボランティア、検定、コンクール応募等に挑戦し、自己アピールの材料を作っておきましょう。

保健だより 3月号



新年度を迎えます。何を始めるかなど、いろいろなことに思いをめぐらせている時期かと思えます。何をすることも身体が健康であることが大切です。生活習慣を整えて、元気に春を迎えましょう。



今できる！新学期の準備

- ① **生活リズム** ……時間を意識して生活するように心掛けましょう。日々の自分を支えます。
- ② **片付け** ……整理整頓をしましょう。ただし、昨年使った教科書の中には今年も使うものがあるかもしれません。確認をしてから片付けましょう。
- ③ **目標** ……勉強、検定、アルバイトなど新年度の目標を立ててそれに向かって努力しましょう。

令和2年度 健康診断

自分の健康状況を把握しておくことはとても大切なことです。学校での受診機会を有効に活用してください。下記の日程で受けられるよう予定に入れておきましょう。

日時：令和2年6月2日（火）午後

内容：眼科、歯科、耳鼻科、身長、体重、視力、聴力、尿、診察、胸部X線・心電図（該当者のみ）

- 健診費用は**無料**です。
- **特別活動**にカウントされます。
- 眼科、耳鼻科、歯科検診も同時に受けることができます。
- 学校で受けない場合は、他の機関で受けることになります。

※詳しい時間等は次号で連絡します。



◆『花粉症』と効果的な対策

◇『花粉症』とは？

花粉が飛ぶ季節になると始まる、くしゃみ、鼻水、鼻づまり。スギやヒノキなどの植物の花粉が原因で生じるアレルギー症状を「花粉症」と呼びます。現在、日本人のおよそ4人に1人が花粉症だと言われています。花粉症の症状が現れやすいのが、鼻と目です。



◇『花粉症』の主な対策は？

- ①花粉のつきにくい服を選ぶ。
 - ②メガネ、マスク、帽子等を着用する。
 - ③家に入る時は花粉をはらう。
 - ④帰宅後は体についた花粉をきちんと洗い流す（手洗い、うがい等）。
 - ⑤室内の湿度を適度に保つ。
- ※ひどくなる前に受診しましょう！



新年度が始まります

4月は学校行事も盛りだくさんです。学校からの案内をきちんとチェックして、参加してください。



日程	行事	備考
4月 5日(日)	在校生受講手続き ※全員必ず出席	<p>ルームによって登校時間が違います。案内をきちんと確認して自分のルームの時間に登校してください。</p> <p>※教科書無償申請の書類提出 無償申請の書類を提出しないと教科書代の支払いが必要になります。</p> <p>※新年度諸会費の納入 諸会費を納入しないと新年度の活動ができません。</p>
4月 13日(月)	新入生一日入学	令和2年度入学生のみでの登校です。在校生は登校する必要はありません。
4月 19日(日)	入学式	
4月 26日(日)	前期全校集会 ※全員必ず出席	<p>新年度最初の大切な会です。教科書、レポートは全校集会後のルーム別指導時に渡します。前期時間割がわかります。</p>
4月 28日(火)	大田プレスクーリング あすてらす 益田プレスクーリング 益田市民学習センター	<p>令和2年度入学生向けに「レポートの提出の仕方」、「レポートへの取り組み方法」などを説明する会です。</p> <p>在校生も参加してレポートに取り組んだり、学習計画を立てたりすることができます。</p>
4月 30日(木)	浜田プレスクーリング 本校	
5月 10日(日)	本校スクーリング1回目 協力校スクーリング1回目	新年度最初の本校・協力校スクーリングです。
5月 12日(火)	火曜スクーリング1回目	新年度最初の火曜スクーリングです。



※詳細は学校からの案内を確認してください。

※4月5日(日)の受講手続きの時に「教科書無償申請」の書類を提出してください。(提出がない場合、教科書代の支払いが必要になります。) **就労証明書**など**証明書類**が必要になりますので早めに準備をしておいてください。

平野副校長より



～ アンパンマンが教えてくれること ～

副校長 平野 謙二

何年も前の話になるが、キリスト教会の集会で、ある家族の子どもたち3人が歌を披露してくれた。小学生と幼稚園児とおぼしき愛らしい3姉妹が、よく訓練された美しいハーモニーで聴く人の心を和ませてくれていた。教会の集会で歌うとあって讃美歌のような曲がほとんどであったが、最後に元気の良い前奏曲が流れてきた。幼い子どもをもつ当時の私には、その曲が「アンパンマンのマーチ」だとすぐに分かった。「なぜこの曲を歌うの？」と違和感を覚えながら聴いているうちに、私はその歌詞に深く考えさせられた。

♪「なんのために生まれて なにをして生きるのか 答えられないなんて そんなのは いやだ！」
「なにが君のしあわせ なにをしてよろこぶ わからないまま 終わる そんなのは いやだ！」
明るく軽快なメロディーに乗せて楽しく歌われる暗く重い歌詞は、私の心をとらえて離さなかった。

アンパンマンの作者である「やなせ たかし」さんは、著書『アンパンマンの遺書』のなかでこう記している。「これはアンパンマンのテーマソングであり、ぼくの人生のテーマソングである」。「『なにをして生きるのか』自分に問いかける時が来た」自分に何ができるのかという若い頃からずっと抱えてきた疑問、「なにもせずに終わりにたくない」という心の叫び。人生を通して自分自身に投げかけたテーマにやなせさんは負けなかった。アンパンマンを誕生させ主題歌を自身が作詞したのが69歳。その後、奥様を失い独りになってもアンパンマンの物語を生み続けた。90歳を過ぎ一度は引退を決めたやなせさん。東日本大震災で被災した子供たちが「アンパンマンのマーチ」を聞くと勇気が出るという声を聞いて、「死ぬまで現役！」と復帰を果たされた。そして7年前94歳で亡くなられた。みんなの夢を守るため戦ってくれたやなせさんはアンパンマンそのものだった。

誰かを助けるために顔を食べさせて顔がなくなってしまったアンパンマンが空を飛ぶ。「ほんとうの正義というものは、けっしてカッコいいものではないし、そしてそのためにならざる自分も深く傷つくものです」とやなせさん。しかしアンパンマンは決して敵を完膚なきまでに叩き潰さない。「バイキンを死滅させると、人間も絶滅する」からと。「これ以上はダメ！」と懲らしめるだけにして『共存』を図るのが、やなせさんが戦争で学んだ知恵なのかもしれない。

「ひとはひとを喜ばせることが一番うれしい。ひとはみんな、よろこばせごっこをして生きています。それが、このいかにもさびしげな人生のささやかなたのしみになります。」

やなせさんのこの言葉が、数年前に3姉妹の歌を聴いた時と同じように、今の私の心を勇気づけてくれる。

「何のために生まれ、何をして生きるのか」今の皆さんには答えられないかもしれないが、志を立て、人を喜ばせて感じる喜びを味わうことはできる。答えはその先に見つかるだろう。

皆さんは、誰を喜ばせたいですか？

